

顎顔面外科学

Maxillofacial Surgery

講師	山口 聰、鵜澤 成一
助教	儀武 啓幸、道 泰之、黒原 一人、中久木 康一、大山 徹雄 (4月～) 森田 圭一
医員	園田 格、名生 邦彦、友松 伸允、赤津 千絵、 佐久間 朋美、長岡 亮介、稲葉 好則、炭野 淳、三浦 千佳、 (4月～) 橋田 之彦、寺内 正彦、小杉真智子
大学院	金丸 智紀、勝村 早恵、星 礼子、西原 駿、外内えり奈、 稲田 大佳輔、エンヒュボルド ウヤンガ(モンゴル 留学生) ドゥルグーン バットボールド(モンゴル 留学生) 曾根 絵梨、押部 成美、中里 佳一郎、加藤 寛史、 山田 隆彦、金 裕純、(4月～) 兵頭 克弥、山本 大介
大学院 研究生	(4月～) 柴田 真理、杉山 健太郎、本多 奈津子、丸岩 真由子、大石 常貴和、高木 万菜
名誉教授	天笠 光雄
臨床教授	山城 正司
非常勤講師	長谷川 和樹、宮岡 等、和気 裕之、山田 隆文、佐藤 文明、宮地 秀雄、石井 純一 藤井 英治、小林 淳二、小林 明子、新中 康史、佐藤 豊、渡部 隆夫、鈴木 鉄夫、山根 正之 三島木 節、阿部 成宏、水谷 美保、倉沢 泰浩、道川 千絵子、大上 えりか、遠藤 寛則

(1) 研究活動

当分野では多岐にわたる顎顔面口腔領域の疾患に対し、以下のテーマを中心に研究を行っている。

1) 顎変形症：術後の安定性と手術術式の改良を目的とした研究を行っている。特に、口内法における術式の改良、術後の下顎頭の安定性、後戻り、下顎運動、皮膚感覚、安全な上顎骨後方挙上等について検討している。三次元超音波振動切削機(ピエゾサージェリー、ソノベット)を導入し、神経血管・骨膜損傷を抑える骨切り等を行っている。また骨接合の際に用いる吸収性プレートの力学的強度の研究を企業との産学連携研究として行っている。口唇口蓋裂患者の重度の上顎發育不全に対して創内延長装置である Zurich maxillary distractor や RED system を用いた上顎全体の骨延長の適応や術後の安定性に関して検討している。自己血貯血の実態調査、外科手術前後の栄養調査、意識調査・口腔衛生に対する評価を行い、実際の臨床に反映させている。下顎枝矢状分割術における下顎頭位置決め方法についても改良を進めている。

また、クリニカルパスを導入して安全、確実な入院加療、術後入院期間の短縮を実現して患者に優しい医療を目指している。

2) 口腔悪性腫瘍：超音波、CT、MRI、PET 等の画像を用いた診断や腫瘍進展範囲の検索の精度を向上させるための研究を引き続き行っている。超音波診断においては、カラードプラ超音波診断器を導入し、病変の血流の有無、方向、流速、性状など、腫瘍の質的診断の研究を行っている。口腔癌の組織型、発生部位別の治療成績の検討から、予後不良因子を抽出し、常に治癒率の向上を目指している。また、重複癌に関する臨床的研究、若年者・高齢者における口腔癌患者の動向に関する臨床的研究、遠隔転移様相に関する臨床的研究、口腔癌切除後の創被覆法、切除法の工夫に関する研究を行っている。さらに、術後治療の標準化、新規抗がん剤治療による治療成績についての研究を行い、治療成績の向上に寄与する研究を行っている。口腔再建手術後の咀嚼、嚥下、構音などの口腔機能の評価法に関する研究も進めており、術後 QOL を向上させる再建法について検討を行っている。術後の摂食・嚥下障害が予想される患者に対しては、摂食リハビリ外来や病棟スタッフとの連携のもとで、術前より摂食・嚥下機能評価を行っている。特に腫瘍切除後に組織移植により再建術を行う患者に対しては、クリニカルパスを作成し、早期のリハビリ開始や、術後入院期間の縮小がはかられている。また、言語機能評価は言語治療外来にて行っているが、切除範囲や術式ごとの検討を行うことにより、機能温存を重視した術式の開発に取り組んでいる。

3) 口唇口蓋裂：口唇口蓋裂患者の初回手術前より口蓋床を用い、術前顎發育誘導による歯列弓形態の経時的な変

化について解析を行っている。口唇形成や口唇修正においては、積極的に人中形成を含めた自然な三次元的形態回復を行っている。顔面の形態評価については2次元解析を行っている。口蓋形成では、言語機能や顎発育の両面を考慮したよりよい術式を選択し、成長期における咬合状態と言語機能について評価を行い、咬合や言語に与える因子の解析を行っている。顎裂部への二次的骨移植については、単純X線写真やCTを用い骨形態や歯列弓形態についての評価を行っている。また、鼻咽腔閉鎖機能不全に対してまずは発音補助装置を用い改善を図り、必要に応じて咽頭弁移植術を行い、鼻咽腔閉鎖機能の獲得を行っている。重度の上顎劣成長に対しては、骨延長を適応し咬合改善を行い、術後の後もどりや長期術後安定性について検討を行っている。治療終了期の患者の総合評価を行い、治療プロトコルの問題点や改善点について検討している。研究面では、研究書承諾書を頂いた患者さんから手術中に生じた患者さんの血液、組織を用いて口唇・口蓋裂の発生に関わる遺伝子解析を本学分子発生学分野と共同研究を行っている。

4) 顎関節疾患：口腔疾患と心因的な関連について、顎関節症患者を含む当科外来患者を対象として必要に応じて心理要因の調査を実施し、疼痛と不安・抑うつとの関連性を解析し、治療法を検討している。また顎関節に発生する腫瘍性病変についての外科治療を行うとともに発症原因や病態解明についての検索を行っている。従来からある開口訓練器の改良を行うと共に新しい型式の開口訓練器と開口度測定器の新規開発、それらの実用化と臨床応用に向けての研究開発を進めている。

5) 口腔再建：舌、口底、頬粘膜などの軟組織再建は、主に、前腕皮弁や腹直筋皮弁などの遊離皮弁移植を用いて行っている。顎骨などの硬組織再建は、遊離肩甲骨複合皮弁などの血管柄付き骨移植、骨髄海綿骨細片(PCBM)などによる再建を行っている。顎義歯、インプラント義歯など用いた咬合再建を最終目標とする取り組みと、咀嚼機能、QOL評価を通じて、より安全で機能的な口腔再建法の確立と機能評価・術式の標準化へ向けた研究を行っている。

6) 口腔粘膜疾患：白板症、扁平苔癬などの口腔粘膜疾患に対する治療のために専門外来を設置している。また粘膜疾患の病態に対する原因の調査を、全身疾患、局所、心因性のものにわたって行い、治療には一部東洋医学も導入している。

7) 歯および骨の再生に関する研究：歯髄細胞を細胞供給元とした再生医療の研究を進めている。これまでにヒト歯髄細胞は無血清培地にて培養した場合には象牙質を形成することが見いだされた。歯の再生には上皮系細胞と間葉系細胞が必要と思われる。上皮系細胞としてヒト口腔粘膜上皮細胞、間葉系細胞としてヒト歯髄細胞に着目し歯の再生研究を行っている。最近になり手術時に生じる余剰骨組織よりヒト骨髄間葉系幹細胞の培養にも成功しており、再生医療への応用研究を展開していきたいと考えている。

8) 口腔癌に対する基礎的研究：口腔癌検体より、レーザーマイクロダイセクションを用いて、それぞれの検体から正常部、上皮性異形成部、癌部を採取し、マイクロアレイ解析を行うことにより口腔癌の発癌過程におけるmRNAレベルの発現の変化をデータベース化した。そのデータベースより、正常から上皮性異形成、上皮性異形成から浸潤癌への変化に伴い有意に発現が変化する遺伝子を同定した。

(2) 教育方針

口腔外科学においては口腔、顎、顔面領域に現れる先天性および後天性疾患について、その病因、病理、症状、診断、処置ならびに予後を理解させ、かつ、各種疾患の予防および治療に応用させるように教育する。口腔外科学で取り扱う範囲は非常に広く歯科と医科との重なり合った領域を扱うため、内科学、外科学ならびに隣接臨床医学とは密接な関係を有している。口腔外科学は一般に、歯およびその周囲組織を中心とした疾患を対象とする歯科口腔外科学と、顎口腔顔面領域にわたる疾患を対象とする顎口腔外科学に区分することができ、顎顔面外科学分野は顎口腔外科学分野と分担して教育する。

1-1 第5学年前期において、次の内容について講義を行う。

顎口腔医療（内容については顎口腔外科学分野と分担して行う）

- 1) 顎口腔顔面領域の奇形，特に唇顎口蓋裂
- 2) 顎口腔顔面領域の変形症
- 3) 顎口腔顔面領域の損傷
- 4) 顎口腔顔面領域の炎症・感染症
- 5) 顎口腔顔面領域の嚢胞
- 6) 口腔粘膜疾患
- 7) 顎口腔顔面領域の良性，悪性腫瘍
- 8) 顎関節疾患
- 9) 唾液腺疾患
- 10) 系統的骨疾患
- 11) その他

以上の疾患の成因、症状、診断、処置および予後について講義を行う。

1-2 第5学年前期に次の内容について実習を行う。

1) 臨床検査とその評価

- (1) 一般簡易検査（血液型、赤血球数、白血球数、血色素量、血球容積、血球沈降速度、血液像、尿検査）
- (2) 血液検査手技（静脈採血、動脈採血）
- (3) 血清生化学検査、尿生化学検査（付、薬剤アレルギー検査、皮内反応）
- (4) 顎部の診察

2) 滅菌および消毒法

手指の消毒，手術野の消毒，器械・器具の消毒など

3) 抜歯の基本手技

抜歯鉗子・挺子の使い方

4) 顎間固定法

連続歯牙結紮など

1-3 第6学年臨床実習

外来実習では抜歯およびその他外来小手術の基本手技、投薬など、病棟実習では入院患者に対する手術を理解し、術前・術後管理の基本などを修得する。

1-4 歯学部第6学年の特別講義を行っている。

1-5 医学部医学科第3学年および歯学部歯学科第3学年の顎顔面顎部臨床ブロックの講義を担当している。

1-6 医学部医学科第4学年、口腔外科の講義、医学部医学科第5学年、口腔外科実習を担当している。

1-7 医学部保健衛生看護学科の講義を担当している。

1-8 医歯学総合研究科医歯科学専攻修士課程の講義を担当している。

(3) 臨床活動および学外活動

2015年の外来新患者総数は10972名（口腔外科外来全体）であり、そのうち当科新患者数は6312名（再新患者数を除く）であった。

(4) 臨床上の特色

臨床上の特色:近年の口腔外科疾患に対する治療法の進歩により最新かつ専門化した集学的治療体系が必要とされてきている。これに対応して当科では顎変形症、口腔悪性腫瘍、唇顎口蓋裂、顎関節、口腔粘膜疾患に対して専門外来を設け個々の患者へのきめ細かい対応ができる態勢を整えている。同時に集学的治療の実践のため、顎変形症や唇顎口蓋裂では症例検討会を矯正歯科外来と合同で行っており、口腔外科医と矯正歯科医が十分な検討を行った上で治療計画を立てている。また、悪性腫瘍に限らず病態が複雑な疾患や稀少な疾患を対象に口腔病理科、歯科放射線科と合同で臨床病理カンファレンス（CPC）を行い、症例について総合的に検討することにより、診断、治療に関わる知識を深め臨床に役立てている。さらには近年、心身医学的要素を持ち合わせた口腔疾患患者の増加を鑑み、精神神経科医と合同で診療にあたるリエゾン外来を開設しており成果を上げている。

(5) 研究業績**[原著]**

1. Okuyama K, Michi Y, Mizutani M, Yamashiro M, Kaida A, Harada K. Clinical study on mandibular fracture after marginal resection of the mandible. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol.* 2016;
2. Kato Y, Ogasawara S, Oki H, Honma R, Takagi M, Fujii Y, Nakamura T, Saidoh N, Kanno H, Umetsu M, Kamata S, Kubo H, Yamada M, Sawa Y, Morita K, Harada H, Suzuki H, Kaneko MK. Novel Monoclonal Antibody LpMab-17 Developed by CasMab Technology Distinguishes Human Podoplanin from Monkey Podoplanin. *Monoclon Antib Immunodiagn Immunother.* . 2016; 35(2); 109-116
3. Kohmoto T, Tsuji A, Morita K, Naruto T, Masuda K, Kashimada K, Enomoto K, Morio T, Harada H, Imoto I. A novel COL11A1 missense mutation in siblings with non-ocular Stickler syndrome. *Hum Genome Var.* 2016; 7(3); 16003
4. Khanom R, Nguyen CT, Kayamori K, Zhao X, Morita K, Miki Y, Katsube K, Yamaguchi A, Sakamoto K. Keratin 17 Is Induced in Oral Cancer and Facilitates Tumor Growth. *PLoS One.* . 2016; 11(8); e0161163
5. Pal SK, Nguyen CT, Morita KI, Miki Y, Kayamori K, Yamaguchi A, Sakamoto K. THBS1 is induced by TGFβ1 in the cancer stroma and promotes invasion of oral squamous cell carcinoma. *J Oral Pathol Med.* 2016; 45(10); 730-739

6. Sato M, Morita K, Kabasawa Y, Harada H. Bilateral nasolabial cysts: a case report. *J Med Case Rep.* 2016; 10(1); 246
7. Kondo Y, Ohno T, Nishii N, Harada K, Yagita H, Azuma M. Differential contribution of three immune checkpoint (VISTA, CTLA-4, PD-1) pathways to antitumor responses against squamous cell carcinoma. *Oral Oncology.* 2016; 57; 54-60
8. Matsushita Y, Nakakuki K, Kosugi M, Kurohara K, Harada K. Does Intraoral miniplate fixation have a good postoperative stability after sagittal splitting ramus osteotomy?: Comparison with intraoral bicortical screw fixation. *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery.* 2016.01; 74; 181-189
9. 中久木康一, 澁田慎也, 槻木恵一, 田中彰, 大黒英貴, 村岡宜明, 柳川忠廣. 災害時歯科保健医療の研修に求められている内容の検討 *日本歯科医療管理学会雑誌.* 2016.02; 50(4); 214-221
10. Nakajima K, Kho DH, Yanagawa T, Harazono Y, Hogan V, Chen W, Ali-Fehmi R, Mehra R, Raz A. Galectin-3 cleavage alters bone remodeling: Different outcomes in breast and prostate cancer skeletal metastasis. *Cancer Res.* 2016.03; 76(6); 1391-1402
11. 小城明子, 竹内由里, 中久木康一, 黒原一人. 顎変形症患者における顎矯正手術および顎間固定施行後の咬合力と食物・栄養摂取状況 *日本顎変形症学会雑誌.* 2016.04; 26(1); 9-17
12. Morita T, Yamashiro M, Kayamori K, Mizutani M, Nakakuki K, Michi Y, Uzawa N, Izumo T, Harada K. Primary intraosseous squamous cell carcinoma derived from a maxillary cyst: A case report and literature review. *Mol Clin Oncol.* 2016.04; 4(4); 553-558
13. Kayamori K, Katsube K, Sakamoto K, Ohyama Y, Hirai H, Yukimori A, Ohata Y, Akashi T, Saitoh M, Harada K, Harada H, Yamaguchi A. NOTCH3 Is Induced in Cancer-Associated Fibroblasts and Promotes Angiogenesis in Oral Squamous Cell Carcinoma. *PLoS One.* 2016.04; 11(4); e0154112
14. Suzuki M, Deno M, Myers M, Asakage T, Takahashi K, Saito K, Mori Y, Saito H, Ichikawa Y, Yamamoto-Mitani N, Miyashita M. Anxiety and depression in patients after surgery for head and neck cancer in Japan. *Palliat Support Care.* 2016.05; 299(8); 1110-1120
15. Okuyama K, Michi Y, Mizutani M, Yamashiro M, Kaida A, Harada K. Clinical study on mandibular fracture after marginal resection of the mandible. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol.* 2016.05; 121(5); 461-467
16. Badri MK, Zhang H, Ohyama Y, Venkitapathi S, Kamiya N, Takeda H, Ray M, Scott G, Tsuji T, Kunieda T, Mishina Y, Mochida Y. *Ellis van Creveld2* is required for postnatal craniofacial bone development. *Anat Rec (Hoboken).* 2016.05; 299(8); 1110-1120
17. 中久木康一. 歯科における東日本大震災後の災害時保健医療体制の整備 *日本集団災害医学会雑誌.* 2016.06; 21(1); 83-90
18. Yoshitake H, Kayamori K, Wake S, Sato F, Kino K, Harada K. Synovial chondromatosis of the right side temporomandibular joint extending to the middle cranial fossa: A case report with 7-year postoperative follow up and expression of a biomarker of cell proliferative activity. *Anat Rec (Hoboken).* 2016.06; 20; 133-137
19. Kondo Y, Ohno T, Nishii N, Harada K, Yagita H, Azuma M. Differential contribution of three immune checkpoint (VISTA, CTLA-4, PD-1) pathways to antitumor responses against squamous cell carcinoma. *Oral Oncol.* 2016.06; 57; 54-60
20. Ohyama Y, Lin JH, Govitvattana N, Lin IP, Venkitapathi S, Alamoudi A, Husein D, An C, Hotta H, Kaku M, Mochida Y. FAM20A binds to and regulates FAM20C localization. *Sci Rep.* 2016.06; 6; 27784
21. 水谷 美保, 道 泰之, 香月 佑子, 大山 巖雄, 鶴澤 成一, 名生 邦彦, 川俣 綾, 炭野 淳, 三浦 千佳, 森田 琢磨, 山城 正司, 天笠 光雄, 山口 聡. 当科における口腔扁平上皮癌 597 例の臨床的検討. *口腔病学会誌.* 2016.07; 83(2); 12-18
22. Wake S, Yoshitake H, Kayamori K, Izumo T, Harada K. Expression of CD90 decreases with progression of synovial chondromatosis in the temporomandibular joint. *Cranio.* 2016.07; 34(4); 250-256

23. Jaha H, Husein D, Ohyama Y, Xu D, Suzuki S, Huang GT, Mochida Y. N-terminal Dentin Sialoprotein fragment induces type I collagen production and upregulates dentinogenesis marker expression in osteoblasts. *Biochemistry and Biophysics Reports*.. 2016.07; 6; 190-196
24. Shuji Hibiya, Kiichiro Tsuchiya, Ryohei Hayashi, Keita Fukushima, Nobukatsu Horita, Sho Watanabe, Tomoaki Shirasaki, Ryu Nishimura, Natsuko Kimura, Tatsunori Nishimura, Noriko Gotoh, Shigeru Oshima, Ryuichi Okamoto, Tetsuya Nakamura, Mamoru Watanabe. Long-term inflammation transforms intestinal epithelial cells of colonic organoids. *J Crohns Colitis*. 2016.10;
25. Masanori Kobayashi, Shigeru Oshima, Chiaki Maeyashiki, Yoichi Nibe, Kana Otsubo, Yu Matsuzawa, Yasuhiro Nemoto, Takashi Nagaishi, Ryuichi Okamoto, Kiichiro Tsuchiya, Tetsuya Nakamura, Mamoru Watanabe. The ubiquitin hybrid gene UBA52 regulates ubiquitination of ribosome and sustains embryonic development. *Sci Rep*. 2016.11; 6; 36780
26. 上園将慶. 東京医科歯科大学歯科講演会『顎顔面矯正学の現在と未来-顎顔面矯正学分野の目指すもの』-4 : 歯胚や歯根の位置に影響されない骨接合型アンカーデバイス 矯正臨床ジャーナル. 2016.11; 32(11); 67-72
27. 鶴澤成一, 森田琢磨, 星玲子, 赤津千絵, 道泰之, 大山徹雄, 炭野淳, 名生邦彦, 山城正司. 口腔癌顎部リンパ節転移被膜外浸潤陽性症例の予後因子に関する検討 顎顔面矯正学. 2016.11; 42(4); 400-405
28. Morita T, Uzawa N, Mogushi K, Sumino J, Michikawa C, Takahashi KI, Myo K, Izumo T, Harada K. Characterizing Genetic Transitions of Copy Number Alterations and Allelic Imbalances in Oral Tongue Carcinoma Metastasis. *Genes Chromosomes Cancer*.. 2016.12; 55; 975-986
29. Terauchi M, Inada T, Tonegawa A, Tamura A, Yamaguchi S, Harada K, Yui N. Supramolecular inclusion complexation of simvastatin with methylated α -cyclodextrins for promoting osteogenic differentiation. *Int. J. Biol. Macromol*.. 2016.12; 93(PtB); 1492-1498

[書籍等出版物]

1. 川俣綾. リハビリテーション ビジュアルブック 第二版 (学研) Chapter15 口腔ケア. 2016
2. 山城正司. 歯科・口腔用薬 . 治療薬ハンドブック 2016.. 2016
3. 横溝一郎. その薬手帳、なんのため? 月刊 わたしの世田谷 2016.. 2016
4. 中久木康一. 臨床栄養. 2016.03
5. 顎関節症スプリント療法ハンドブック. 2016.06
6. 木野 孔司, 佐藤 文明, 和気 裕之, 西山 暁, 澁谷 智明, 中山 玲奈, 兜森 彩日. 「TCH」見逃していませんか? 診査・診断・是正・指導のポイント. 2016.07
7. 文献と臨床のインプラントサイエンス 今読むべきインパクトの高い70論文& 77症例 一般社団法人日本インプラント臨床研究会 編. 2016.07
8. 中久木康一. ザ・クインテッセンス. 2016.07
9. 中久木康一. 繫 —災害歯科保健医療対応への執念 . 2016.07
10. 園田格. 難病 遺伝性血管性浮腫 (HAE) . 10 . 歯科領域例、医薬ジャーナル社, 2016.08
11. 中久木康一. デンタルダイヤモンド. 2016.09
12. 黒原一人、原田清. 別冊ザ・クインテッセンス 口腔外科 year book 口腔外科ハンドマニュアル'15。特集 3 : 顎変形症治療の現状と展望 「顎矯正手術患者の周術期管理」.

[講演・口頭発表等]

1. 中久木康一. 避難所での歯科的アプローチ, 震災から学ぶ歯科補綴学. 日本補綴学会関東地方会西関東・東関東支部 生涯学習公開セミナー 2016.01.10 東京
2. 中久木康一. 口腔ケアの重要性・医学歯学の連携システムの必要性. 第6回日本摂食嚥下障害看護研究会 2016.01.16 東京

3. 奥山 紘平, 戒田 篤志, 原田 清, 三浦 雅彦. Vascular disrupting agent として機能する新規微小管重合阻害薬 (KPU-300) を用いた腫瘍細胞に対する放射線増感機構の解析と治療戦略の提案. 第 34 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 2016.01.21 横浜市
4. 岡村 武志, 出雲 俊之, 柳下 寿郎, 森 泰昌, 原田 清. 舌口腔上皮内腫瘍における病理組織学的解析. 第 34 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 2016.01.21 横浜市
5. 鈴木 志保, 水谷 美保, 橋田 之彦, 川俣 綾, 鈴木 恵美子, 加藤 瞳, 松田 悠平, 山城 正司. 終末期における口腔ケア難症例に対するかかわり. 第 34 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 2016.01.21 横浜市
6. 鶴澤 成一, 森田 琢磨, 星 礼子, 道 泰之, 大山 徹雄, 炭野 淳, 名生 邦彦, 原田 清. 口腔癌顎部リンパ節転移被膜外浸潤陽性例に関する臨床的検討. 第 34 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 2016.01.21 横浜市
7. 長谷川 和樹, 山城 正司, 宮本 日出雄, 清水 寿哉. 肩甲骨皮弁による顎骨再建とデンタルインプラントの応用 -特にインプラント周囲炎について-. 第 34 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 2016.01.21 横浜市
8. 原園 陽介, 長谷川 和樹, 柴田 真里, 宮本 日出雄. 肩甲骨皮弁による硬性再建後, デンタルインプラントを応用した口蓋悪性黒色腫の 1 例. 第 34 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 2016.01.21 横浜市
9. 土田 絵梨, 石井 純一, 八木原 一博, 桂野 美貴, 石川 文隆. 口腔癌組織内照射後 10 年をこえて発症した舌癌 4 例. 第 34 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 2016.01.21 横浜市
10. 儀武 啓幸. 新しい開口訓練システム (開口訓練器および開口度測定器) の開発 ~ 発明から実用化への道程 ~. 第 4 回地元応援セミナー 朝日ビジネスプラットフォーム×東京医科歯科大学医工連携セミナー 「新たな医工連携モデルを目指して」 ~ 産学官金の活用がポイント! 2016.01.29 東京都
11. 中久木康一. 災害時の歯科保健体制の必要性と、外部からの歯科支援のあり方. 日本口腔衛生学会認定研修会 2016.02.06 埼玉
12. 稲葉 好則, 大山 徹雄, 道 泰之, 黒原 一人, 友松 伸允, 園田 格, 中久木 康一, 佐藤 豊, 儀武 啓幸, 鶴澤 成一, 豊島 瑞枝, 山口 聡. 新規濃厚流動食が口腔外科手術後の栄養管理にて消化器症状に及ぼす影響の検討. 第 31 回日本静脈経腸栄養学会学術集会 2016.02.25 福岡市
13. 高藤真理, 足立了平, 門井謙典, 中久木康一. 「関連死予防のための避難所支援のあり方について第 2 報」. 第 20 回日本集団災害医学会総会・学術集会 2016.02.26 東京
14. 望月 美江, 小林 明子, 熊谷 順也, 山口 聡, 原田 清. 自発性異常味覚および異味症に関する臨床的検討. 第 20 回口腔顔面神経機能学会 2016.03.05 東京都
15. 熊谷 順也, 小林 明子, 望月 美江, 澤田 真人, 山崎 裕子, 原田 清. 東京医科歯科大学顎顔面外科における下顎水平埋伏智歯抜歯の臨床統計的検討 第二報. 第 20 回口腔顔面神経機能学会 2016.03.05 東京都
16. 中久木康一. 災害時の歯科保健医療体制が活用されるまで. 宮城県歯科医師会大規模災害対策本部医療救護講演会 2016.03.15 宮城
17. Morita K, Naruto T, Tanimoto K, Yasukawa C, Oikawa Y, Masuda K, Imoto I, Inazawa J, Omura K, Harada H. Simultaneous detection of both single nucleotide variations and copy number alterations by next-generation sequencing in gorlin syndrome. . The 13th International Congress of Human Genetics 2016.04.03 京都
18. 大野 建州, 西井 直人, 近藤 雄太, 東 みゆき. 扁平上皮癌モデルにおける新規分子 V I S T A を含めた免疫チェックポイント阻害効果の検討. 第 70 回口腔科学会 2016.04.16 福岡市
19. 儀武 啓幸. 開口訓練システムの開発 (続報). 第 4 回日本顎関節外科研究会 2016.04.16 福岡市
20. 秋谷 聡, 寺内 正彦, 大山 徹雄, 山口 聡. 下顎第三大臼歯周囲に発症した含歯性嚢胞のパノラマ X 線画像評価及び検討. 第 70 回日本口腔科学会・学術集会 2016.04.16 福岡市
21. 炭野 淳, 遠山 怜, 鶴澤 成一, 出雲 俊之, 山口 聡. 左頬部に生じた結節性筋膜炎の 1 例. 第 70 回日本口腔科学会・学術集会 2016.04.16 福岡市
22. 土田 絵梨, 石井 純一, 八木原 一博, 石川 文隆. 舌下腺に生じた多形腺腫由来癌の 1 例. 第 70 回日本口腔科学会・学術集会 2016.04.16 福岡市
23. 名生 邦彦, 道 泰之, 大山 徹雄, 鶴澤 成一, 山口 聡. 口腔扁平上皮癌術後の再発高リスク群に対するシスプラチンを用いた化学放射線療法の検討. 第 70 回日本口腔科学会・学術集会 2016.04.16 福岡市

24. 近藤 雄太, 大野 建州, 西井 直人, 東 みゆき. マウス口腔扁平上皮癌モデルにおける VISTA/CTLA-4 免疫チェックポイント阻害併用療法は腫瘍環境中のエフェクター T 細胞と制御性 T 細胞を変化させ抗腫瘍効果を増強する. 第 70 回日本口腔科学会・学術集会 2016.04.16 福岡市
25. 金丸 智紀, 大山 巖雄, 道 泰之, 鶴澤 成一, 持田 欣幸, 山口 聰. 下顎骨及び肩甲骨から採取したヒト骨芽細胞様細胞の骨形成能の比較. 第 70 回日本口腔科学会・学術集会 2016.04.16 福岡市
26. 三浦 千佳, 道 泰之, 大山 巖雄, 鶴澤 成一, 山口 聰. 当科における口底扁平上皮癌局所再発症例の検討. 第 70 回日本口腔科学会・学術集会 2016.04.16 福岡市
27. 廣田 由佳, 大西 威一郎, 森田 圭一, 及川 悠, 原田 浩之, 谷本 幸介, 石川 俊平, 坂本 啓, 明石 巧, 江石 義信. Melanotic neuroectodermal tumor of infancy の 1 例. 日本病理学会第 105 回総会 2016.05.12 宮城
28. 稲葉 好則, 道川 千絵子, 中久木 康一, 露崎 亜美, 赤嶺 里香, 和田 あかね, 坂本 啓, 鶴澤 成一, 山口 聰. 口蓋に生じた基底細胞腺腫の 1 例. 第 201 回日本口腔外科学会関東支部学術集会 2016.05.12 高崎市
29. 中久木康一. みんなで考えよう! 「普段の口腔ケアと災害時に工夫すること 災害時の口腔ケア」. 第 12 回市民と介護を考えるカフェ「オリーブの木」 2016.05.15 東京
30. Uezono M, Takakuda K, Hiratsuka T, Ogasawara T, Oshima S, Sato T, Kikuchi M, Suzuki S, Harada K, Moriyama K. Mechanical properties of newly formed bone around subperiosteal devices evaluated with micro-indentation test.. 10th World Biomaterials Congress (WBC) 2016.05.17 Montreal, Canada.
31. 上園将慶, 小川卓也, 原田清, 森山啓司. 片側性唇顎口蓋裂患者における下鼻甲介の位置と二次的顎裂部骨移植術後の骨架橋形態ならびに顎裂幅の相関. 第 40 回日本口蓋裂学会総会・学術集会 2016.05.26 大阪
32. 森田 圭一, 成戸 卓也, 高原 楠旻, 井本 逸勢, 原田 浩之. 口蓋裂を伴う先天異常患者のクリニカルシーケンスの経験. 第 40 回日本口蓋裂学会総会・学術集会 2016.05.26 大阪
33. Koichi Nakakuki. Disaster dentistry -Standardized dental healthcare management system by Japanese experience-. The 12th International Conference of Asian Academy of Preventive Dentistry 2016.05.27 東京
34. Koichi Nakakuki, Minoru Kitahara, Toshiki Moriya, Kazuko Nakajo, Yoshiaki Yasufuku. Proposal for standardized rapid assessment of oral health after disasters. 第 65 回日本口腔衛生学会・総会 2016.05.27 東京
35. 中久木康一, 門井謙典, 東雅啓, 淵田慎也, 木本一成, 槻木恵一. 歯学科における災害医療歯科学教育—3 年間の災害時歯科保健医療教育の試み. 第 65 回日本口腔衛生学会・総会 2016.05.27 東京
36. 中久木康一. 新宿 / 女川における取り組み 懇談会「生活困窮者(歯科保健から遠くにいる人)への取り組み」. 「歯科保健から医療から遠くにいる人に歯科保健を」交流会 2016.05.27 東京
37. Masahiko Terauchi, Takasuke Inada, Atsushi Tamura, Satoshi Yamaguchi, Nobuhiko Yui. Osteoregeneration by supramolecular sulfonated polurotaxane/BMP-2 polyelectrolyte complexes in mouse calvarial defect model.. 11th International Conference Medical Applications of Novel Biomaterials and Nanotechnology, 5th International Conference Smart and Multifunctional Materials Structures & Systems. Centro Congressi 2016.06.05 イタリア
38. 鶴澤 成一, 森田 琢磨, 星 礼子, 道 泰之, 大山 巖雄, 炭野 淳, 名生 邦彦, 山口 聰. 口腔癌顎部リンパ節転移被膜外浸潤陽性例の予後因子に関する検討. 第 40 回日本頭頸部癌学会 2016.06.09 大宮
39. 中久木康一. 訪問健康相談報告. 新宿連絡会医療班 20 周年記念集会 2016.06.18 東京
40. Uezono M, Takakuda K, Hiratsuka T, Ogasawara T, Kikuchi M, Harada K, Suzuki S, Moriyama K.. Yield Strength of Newly Formed Bone Around Subperiosteal Anchorage Devices. 94th General Session & Exhibition of International Association for Dental Research. 2016.06.22 Seoul, Korea
41. Kondo Y, Ohno T, Azuma M. Combined VISTA and CTLA-4 immune-checkpoint blockade enhances antitumor immunity. 94th Annual Meeting of the International Association for Dental Research (IADR 2016) 2016.06.22 Seoul, Korea
42. 友松 伸充, 黒原 一人, 中久木 康一, 儀武 啓幸, 園田 格, 原田 清. 上顎結節・翼状突起部の形態が上顎後方学上に与える影響. 第 26 回日本顎変形症学会学術大会 2016.06.24 東京都

43. 中久木康一, 小杉真智子, 稲田大佳輔, 黒原一人, 原田清. Subspinal Le Fort I 型骨切り術における ANS の位置と鼻翼幅径との検討. 第 26 回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会 2016.06.25 東京
44. 中久木康一. 災害時歯科口腔保健活動研修 . 熊本市歯科衛生士職能力向上研修会 2016.07.04 熊本
45. 横溝 一郎, 星 作男, 高坂 晋哉. 閉塞性睡眠時無呼吸症候群に内科/歯科の連携で口腔内装置を用いた症例の臨床的検討. 日本睡眠学会第 41 回定期学術集会 2016.07.07 東京都
46. 大島 茂, 松沢 優, 前屋舗千明, 大坪加奈, 仁部洋一, 小林正典, 渡辺 守. クローン病感受性遺伝子 TNFAIP3 によるオートファジー制御解析. 第 53 回日本消化器免疫学会総会 2016.07.15 ホテルニューオータニ大阪 (大阪府大阪市)
47. 曾根 絵梨, 和気 創, 佐藤 文明, 和気 裕之, 儀武 啓幸. 顎関節滑膜骨軟骨腫症における MRI 所見と病期分類. 第 29 回日本顎関節学会総会・学術大会 2016.07.17 箱根
48. 儀武 啓幸. 新型開口度測定器の開発と実用化. 第 29 回日本顎関節学会総会・学術大会 2016.07.17 箱根
49. 儀武 啓幸. 下顎頭の前方滑走運動を誘導する新型開口訓練器の開発と実用化. 第 29 回日本顎関節学会総会・学術大会 2016.07.17 箱根
50. 中久木康一. 災害時の歯科保健活動 . 熊本県歯科衛生士会 災害対応歯科衛生士研修会 2016.07.17 熊本
51. 金丸 智紀, 大山 巖雄, 持田 欣幸, 田村 篤志, 青木 和広, 由井 信彦, 山口 聡. VWC2 タンパク質による骨形成促進メカニズムの解明. 第 34 回骨代謝学会学術集会 2016.07.20 大阪市
52. 中久木康一. 災害時の歯科との連携. 第 6 回災害医療支援薬剤師 研修コース 2016.07.20 東京
53. 中久木康一. 地域防災ワークショップ. 浜松医科大学災害支援サークル LUCE 2016.07.23 東京
54. 西井 直人, 近藤 雄太, Lixin Li, Walter Lau, 原田 浩之, 東 みゆき. Combined treatment with PD-L1 blockade and a TLR7/8 agonist dramatically enhances antitumor immunity. 第 20 回日本がん免疫学会 2016.07.27 大阪市
55. 中久木康一. 熊本地震からの情報提供. 日本災害時公衆衛生歯科研究会 災害歯科アセスメント検討会 2016.07.30 神奈川
56. 中久木康一. 災害時の歯科支援における熊本地震対応の特徴と成果、そして課題. 平成 28 年熊本地震 歯科支援 中間報告会 2016.07.31 東京
57. Horita N, Demitrack ES, Gifford GB, Keeley TM, Siebel CW, Samuelson LC. Notch1 and Notch2 regulate epithelial cell proliferation in mouse and human gastric corpus. The 2016 Gordon Research Conference on Notch Signaling in Development, Regeneration & Disease 2016.08.01 Lewiston (USA)
58. 中久木康一, 大脇甲哉. 新宿の野宿労働者に対する訪問健康相談報告. 第 57 回日本社会医学会総会 2016.08.06 滋賀
59. Tsuchida E, Ishii J, Yagihara K, Katsurano M, Okamura T, Yagishita H, Ishikawa A. A clinical and histopathological analysis of oral tongue cancer in young adults. 第 27 回臨床口腔病理学会総会・学術大会 2016.08.11 広島市
60. 中久木康一. 災害時に必要とされる公衆衛生機能. 愛知県歯科口腔保健推進研修 (災害対策) 2016.08.18 愛知
61. Ohno T, Kondo Y, Azuma M. VISTA/PD-1H negatively regulates generation of Th2-mediated allergic responses. ICI2016 2016.08.21 Melbourne, Australia
62. 西井 直人, 立浪 秀剛, 近藤 雄太, 原田 浩之, 東 みゆき. 低濃度 TLR7/8 アゴニスト全身投与の抗腫瘍効果と PD-L1 阻害との併用. 第 58 回歯科基礎医学会 2016.08.24 札幌市
63. 倉沢 泰浩, 道脇 幸博, 向山 仁, 関谷 秀樹, 小林 裕, 丸岡 豊, 重松 司朗, 陸川 良智, 長谷川 士朗, 唐木田 一成, 根岸 明秀, 石井 良昌, 大橋 勝, 坂田 康彰, 杉崎 順平, 植野 正之, 村上 正泰. 総合病院の入院患者が入院中に発症する肺炎に関する多施設共同研究 —医科入院患者約 40 万人の解析. 日本歯科医学会 第 32 回「歯科医学を中心とした総合的な研究を推進する集い」 2016.09.03 東京都
64. Yoshitake H. Development of the new instrument for measurement of mouth opening and mouth-opening pathway. 23rd Congress of the European Association for Cranio Maxillo-Facial Surgery 2016.09.13 London, UK

65. Yoshitake H. Development of the new TMJ rehabilitation device that induces a protrusive sliding movement of the mandibular condyle. 23rd Congress of the European Association for Cranio Maxillo-Facial Surgery 2016.09.13 London, UK
66. 中久木康一. 地域における災害時歯科保健医療対策 ～連携の重要性～. 豊橋市歯科医師会 防災対策講習会 2016.09.22 愛知
67. 中久木康一. 災害時に必要とされる公衆衛生歯科機能,【第1部】「災害時における歯科医療救護活動に関する協定書」の具体化に向けて【第2部】グループワーク「受援体制を考える」. 地域保健関係職員人材育成研修会 2016.09.23 愛知
68. 儀武 啓幸. 第5回日本口腔外科学会サマーニカルトレーニング (日本顎関節学会共催). 日本顎関節学会 2016.09.24 札幌
69. 中久木康一. 大規模災害時の歯科医師の役割. 宮崎県歯科医師会 災害対策講演会 2016.09.24 宮崎
70. 中久木康一. 各都市歯科医師会災害コーディネーターの役割. 宮崎県歯科医師会 災害対策担当役員研修会 2016.09.24 宮崎
71. 中久木康一. 災害時にお口のトラブルで困らないために. 宮崎県歯科医師会 県民公開講座 2016.09.25 宮崎
72. 西井 直人, 立浪 秀剛, 近藤 雄太, 原田 浩之, 東 みゆき. Antitumor effects of a low dose TLR7/8 agonist and its combined therapy with PD-L1 blockade. 第75回日本癌学会 2016.10.06 横浜市
73. 及川 悠, 森田 圭一, 栢森 高, 坂本 啓, 石川 俊平, 稲澤 譲治, 原田 浩之. 口腔がんにおける cell-free DNA の臨床応用. 第75回日本癌学会学術総会 2016.10.06 横浜
74. Tonouchi E, Muramatsu T, Hiramoto H, Inazawa J. MicroRNA-mediated BET family and mTOR pathway inhibition suppresses cell growth. 第75回日本癌学会学術総会 2016.10.08 横浜市
75. 中久木康一. 大規模災害時における歯科救護医療について～災害歯科コーディネーターについて～. 千葉県歯科医師会 災害対策講習会 2016.10.13 千葉
76. 古川 浩平, 奥山 紘平, 坂本 由紀, 鳴瀬 智史, 川北 晃子, 柳本 愨市, 梅田 正博. 下顎枝後縁に認められた異所性下顎埋伏智歯の1例. 第49回日本口腔科学会九州地方部会 2016.10.15 那覇市
77. 及川 悠, 森田 圭一, 栢森 高, 坂本 啓, 谷本 幸介, 石川 俊平, 稲澤 譲治, 原田 浩之. ワークショップ 頭頸部癌の集学的治療 口腔がんにおけるがん関連遺伝子変異のターゲットリサーチ. 第54回日本癌治療学会学術集会 2016.10.20 横浜
78. 中久木康一. 災害時の歯科保健の重要性. 第23回日本歯科医学会総会 2016.10.23 福岡
79. 中久木康一. 熊本地震における歯科支援とそのあり方の検討. 第75回日本公衆衛生学会 2016.10.26 大阪
80. 中久木康一. 熊本地震における歯科支援活動報告. 「歯科保健から遠くにいる人に歯科保健を」交流会 2016.10.26 熊本
81. 中久木康一. 医科歯科介護福祉の連携 災害時の歯科医療保健の現状～東日本大震災・熊本地震・南阿蘇村での実践から～. ひばりスタディグループ 2016.10.26 熊本
82. 鈴木紀子, 栗林亜実, 森田圭一, 原田浩之, 渡邊 裕, 倉林 亨. 下顎に生じた乳児黒色性神経外胚葉性腫瘍の1例. NPO 法人日本歯科放射線学会第21回臨床画像大会 2016.10.29 東京
83. Masahiko Terauchi, Atsushi Tamura, Nobuhiko Yui.. Supramolecular Sulfonated Polytaxanes complexed with Bone Morphogenetic Protein-2 for Bone Tissue Engineering. International Dental Materials Congress 2016 2016.11.04 インドネシア
84. 小笠原毅, 上園将慶, 高久田和夫, 菊池正紀, 平塚泰三, 鈴木聖一, 森山啓司. 歯科矯正用骨膜下デバイスの形状および新生骨形態が骨接合強度に及ぼす影響の有限要素解析. 第75回日本矯正歯科学会大会 2016.11.07 徳島
85. 中久木康一. 熊本地震における歯科保健医療支援活動. 江戸川区歯科医師会医療管理委員会 講演会 2016.11.11 東京
86. 金丸 智紀, 大山 巖雄, 山口 聰. 下顎骨及び肩甲骨から採取したヒト骨髄間質細胞の骨形成能の比較. 第53回日本口腔組織培養学会学術集会 2016.11.17 金沢市

87. 横山潤吉、園田 格、村山忠男. エンド GIA 自動吻合器を用いた誤嚥防止術の検討. 第 3 4 回江戸川医学会 2016.11.19 東京
88. 熊谷 順也, 小林 明子, 山口 聰. 下顎埋伏智歯の臨床的検討. 第 61 回日本口腔外科学会総会・学術集会 2016.11.25 千葉市
89. 川俣 綾, 水谷 美保, 加地 博一, 齋藤 健一, 山城 正司. 当院における歯性上顎洞炎症例の臨床的検討. 第 61 回日本口腔外科学会総会・学術集会 2016.11.25 千葉市
90. 白尾 浩太郎, 小泉 雄, 長縄 鋼亮, 森田 琢磨, 福田 幸太. 上顎骨原発歯源性悪性腫瘍の 1 例. 第 61 回日本口腔外科学会総会・学術集会 2016.11.25 千葉市
91. 金丸 智紀, 大山 巖雄, 持田 欣幸, 田村 篤志, 青木 和広, 大上 えりか, 由井 伸彦, 山口 聰. Vwc2 タンパク質による骨形成促進メカニズムの解明. 第 61 回日本口腔外科学会総会・学術集会 2016.11.25 千葉市
92. 倉沢 泰浩, 道脇 幸博, 向山 仁, 関谷 秀樹, 小林 裕, 丸岡 豊, 重松 司朗, 陸川 良智, 長谷川 士朗, 唐木田 一成, 根岸 明秀, 石井 良昌, 大橋 勝, 坂田 康彰, 杉崎 順平, 植野 正之, 村上 正泰. 入院後の肺炎発症に関する多施設共同研究 -入院患者約 40 万人と診療科別の解析. 第 61 回日本口腔外科学会総会・学術集会 2016.11.25 千葉市
93. 原園陽介、長谷川和樹、野里女明代、宮本日出雄. 下顎骨関節突起骨折に対して Transmasseteric Anteroparotid アプローチを用いて観血的整復術を施行した 9 例. 第 61 回 日本口腔外科学会総会・学術大会 2016.11.25 千葉
94. 中里桂一郎、鶴澤成一、栢森高、炭野淳、赤津千絵、大山巖雄、山口聰. 当科における骨関連病変に関する臨床的検討. . . 第 61 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2016.11.25 千葉
95. 稲田大佳輔 寺内正彦 山口聰. 成長因子活性を亢進する硫酸化ポリロタキサン移植用ゲルの調製 —骨再生を目指して—. 第 61 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2016.11.25 千葉
96. 坂本由紀, 柳本惣市, 奥山紘平, 鳴瀬智史, 梅田正博. 口腔扁平上皮癌の両側リンパ節転移 (N2c) 症例に関する臨床学的検討. 第 61 回 日本口腔外科学会総会・学術大会 2016.11.25 千葉
97. 鳴瀬智史, 柳本惣市, 奥山紘平, 大森景介, 山下健太郎, 土橋宏輝, 川北晃子, 坂本由紀, 山田慎一, 梅田正博. 舌癌における PD-1/PD-L1 の発現に関する免疫組織学的検討: 特に局所再発との関係について. 第 61 回 日本口腔外科学会総会・学術大会 2016.11.25 千葉
98. 奥山紘平, 柳本惣市, 鳴瀬智史, 川北晃子, 坂本由紀, 土橋宏輝, 藤田修一, 池田通, 梅田正博. 舌扁平上皮癌切除 4 年後に扁平上皮癌成分を含有する未分化肉腫として局所再発した 1 例. 第 61 回 日本口腔外科学会総会・学術大会 2016.11.25 千葉
99. 金裕純, 奥山紘平, 道泰之, 大山巖雄, 鶴澤成一, 山口聰. 50 歳未満の舌癌誘発因子としての患側下顎第二大臼歯の舌側傾斜と舌房面積の狭小. 第 61 回 日本口腔外科学会総会・学術大会 2016.11.25 千葉
100. 中久木康一, 友松伸允, 黒原一人, 小杉真智子, 山口聰. Le Fort I 型骨切り術に超音波固定生体吸収ピンを用いたシステムを使用した 3 症例. 第 61 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会 2016.11.25 千葉
101. 中久木康一. 災害時の歯科保健医療の考え方とその体制. 練馬区歯科医師会 災害歯科医療研修会 2016.11.29 東京
102. 儀武 啓幸. シンポジウム 医工連携の実際 より良い連携に向けて. 科研費挑戦的萌芽研究・早稲田 大学ナノテクノロジーフォーラム・日本医工ものづくりコモンズ 共催ワークショップ「医療ニーズと技術シーズとのマッチングのメカニズムを探る」 2016.12.03 東京
103. 横溝 一郎, 中久木 康一, 高坂 晋哉, 道 泰之, 山口 聰, 三田 千晶, 大川原 亨, 星 作男, 塚本 真, 木村 吉雄, 矢野 尚, 工藤 宏一郎, 鈴木 紘一. 閉塞性睡眠時無呼吸症候群における口腔内装置作製困難を克服した 2 例. 第 16 回世田谷区医師会医学会 2016.12.03 東京
104. 中久木康一. 歯科はその時、どう動けばいいのか. 松阪歯科医師会 震災・災害研修会 2016.12.03 三重
105. Nishii Naoto, Tachinami Hidetake, Kondo Yuta, Harada Hiroyuki, Azuma Miyuki. Antitumor effects of a low dose systemic administration of a TLR7/8 agonist and its combined therapy with PD-L1 blockade. 第 45 回日本免疫学会 2016.12.05 宣野湾市、沖縄

106. 中久木康一. 震災時における障害者・高齢者への注意点. 麻布赤坂歯科医師会・芝歯科医師会合同 平成28年度第1回 障害者歯科研修会 2016.12.05 東京
107. 上丸 英、高江洲学、高江洲優子、福井暁子、関谷秀樹. 下顎小白歯部舌側に左右対称性に二本の過剰歯を認めた一例. 第202回日本口腔外科学会関東支部学術集会 2016.12.10 東京
108. 本多奈津子、道泰之、友松伸允、稲葉好則、山本大介、石田尚子、坂本啓. 診断に苦慮した硬化性歯原性癌の1例. 第202回日本口腔外科学会関東支部学術集会 2016.12.10 東京
109. 中久木康一. 災害時の歯科保健支援. 平成28年度災害支援歯科衛生士フォーラム 2016.12.18 東京
110. 中久木康一. 口腔外科から学ぶ顎関節. リハセンターひばりスタディグループ 2016.12.24 熊本

[特許]

1. 医療用デバイス、歯科用、頭頸部外科用及び整形外科用デバイス構造、並びに骨への医療用デバイスの接合方法（上園将慶、高久田和夫、森山啓司、鈴木聖一）、公開番号：WO 2016136913
2. 骨形成因子安定保持剤、骨形成因子活性化剤、骨形成因子の活性化方法、医薬組成物、複合体の使用、及び骨の再生方法（寺内正彦、池田剛、田村篤志、山口聰、原田清、由井伸彦）、公開番号：WO2016072396 A1
3. 開口度測定器に関して（儀武啓幸）

[受賞]

1. 優秀ポスター賞 Vascular disrupting agent として機能する新規微小管重合阻害薬 (KPU-300) を用いた腫瘍細胞に対する放射線増感機構の解析と治療戦略の提案。(奥山 紘平, 戒田 篤志, 原田 清, 三浦 雅彦), 第34回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 2016年01月
2. 優秀ポスター賞「片側性唇顎口蓋裂患者における下鼻甲介の位置と二次的顎裂部骨移植術後の骨架橋形態ならびに顎裂幅の相関」(上園将慶, 小川卓也, 原田清, 森山啓司), 第40回日本口蓋裂学会学術大会, 2016年05月
3. 平成27年度東京医科歯科大学医師会賞「TNFAIP3 promotes survival of CD4 T cells by restricting MTOR and promoting autophagy.」受賞者：松沢 優, 2016年06月
4. ポスター発表優秀賞下顎頭の前方滑走運動を誘導する新型開口訓練器の開発と実用化.(儀武 啓幸), 第29回日本顎関節学会総会・学術大会, 2016年07月
5. 優秀発表賞総合病院の入院患者が入院中に発症する肺炎に関する多施設共同研究—医科入院患者約40万人の解析—.(倉沢 泰浩, 道脇 幸博, 向山 仁, 関谷 秀樹, 小林 裕, 丸岡 豊, 重松 司朗, 陸川 良智, 長谷川 士朗, 唐木田 一成, 根岸 明秀, 石井 良昌, 大橋 勝, 坂田 康彰, 杉崎 順平, 植野 正之, 村上 正泰), 日本歯科医学会第32回「歯科医学を中心とした総合的な研究を推進する集い」, 2016年09月
6. 優秀発表賞「歯科矯正用骨膜下デバイスの形状および新生骨形態が骨接合強度に及ぼす影響の有限要素解析」(小笠原毅、上園将慶、高久田和夫、菊池正紀、平塚泰三、鈴木聖一、森山啓司), 第75回日本矯正歯科学会大会, 2016年11月
7. 下顎辺縁切除術後の下顎骨骨折因子に関する臨床的検討. 第32回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 優秀ポスター賞 (奥山紘平)

[その他業績]

1. 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 C, 2016年
「有限要素法による矯正用 HAp/Col コーティングオンプラントの最適形状の検討」研究代表者 鈴木聖一
2. 文部科学省科学研究費補助金 特別研究員奨励費, 2016年
「迅速に骨接合する歯科矯正用骨膜下アンカレッジデバイスの開発」研究代表者 上園将慶
3. 科学研究費補助金・挑戦的萌芽, 2016年
バイオバンク研究試料付随匿名化臨床情報管理システムの開発と無償配布への取り組み. 森田圭一
4. 科学研究費補助金・基盤研究 B, 2016年
ナノ磁性複合分子による DSS を用いた新規細胞周期制御法の確立と癌治療への応用. 森田圭一

5. 2016年05月
新聞QUINT 特別座談会 災害時の「食べる」を支えるために ～情報共有と評価の必要性を考える～
中久木康一
6. 2016年07月
毎日新聞 医療プレミア編集部口腔ケアで防ぐ震災関連死 中久木康一
7. 2016年07月
熊本日日新聞 災害時の口腔ケア 課題は？ この人に聞く 熊本地震 中久木康一
8. 2016年07月
ABCラジオ「道上洋三の健康道場」 中久木康一
9. 2016年08月
日本歯科新聞 座談会 菊池恩恵，中久木康一，河瀬聡一郎，太田秀人，特集 災害時の役割と課題
10. 2016年12月
新聞QUINT 中久木康一，斎藤政二，木村裕，三浦夕，特別座談会 東日本大震災から5年 災害時の支援のあり方を考える
11. IBS茨城放送 JA さわやかモーニング やさしい医療「親知らずについて」 佐藤豊